

日税FPメルマガ通信



2024年7月22日発行

編集:税理士 FP 実務研究会事務局

(株)日税ビジネスサービス

東京都新宿区西新宿 1-6-1 新宿エルタワー29階

第413号

◆「オルカン」と「S&P500」はどちらがおすすめ？ NISA 投資のコツを解説

投資信託について調べるなかで、「オルカン」や「S&P500」という銘柄を目にして、気になっているという方も多いのではないのでしょうか。

2024 年からスタートした新しい NISA でも、この 2 つの投資信託は特に注目を集めています。

今回は、人気銘柄のオルカン(オール・カントリー)と S&P500 について、それぞれの特徴やメリット、投資のコツを解説します。

NISA を最大限に活用する投資のコツやポイントも紹介しますので、ぜひ参考にしてください。

1. オルカンとは？

オルカン(オール・カントリー)は、世界中の株式市場に分散投資するインデックスファンドです。先進国から新興国まで幅広い地域の株式に投資することができます。

オルカンは、代表的な株価指数の一つである MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス (ACWI) に連動するよう設計されているのが特徴です。

主なメリットとしては、分散投資によるリスクの軽減が挙げられます。

一つの国や地域に偏らないため特定の市場の動向に左右されにくく、さらにグローバルな経済成長を取り込むことができるため、長期的な資産形成に適しています。

2. S&P500 とは？

S&P500 は、アメリカの代表的な株価指数である S&P500 に連動するインデックスファンドです。米国株式市場の時価総額の約 80%をカバーしており、投資先にはアップル、マイクロソフト、アマゾンなどの大企業が含まれています。

S&P500 のメリットは、アメリカ経済の成長を直接取り込むことができる点です。

アメリカは世界最大の経済大国であり、その経済成長は世界の投資家から高い評価を受けています。

また、歴史的に見ても、S&P500 は長期的な上昇傾向を示しており、安定したリターンが期待できます。

3. オルカンと S&P500 の違い

オルカン(オール・カントリー)と S&P500 の大きな違いは、投資対象にあります。

投資範囲	オルカン	S&P500
先進国市場	アメリカ、カナダ、イギリス、日本、ドイツ、フランスなど	アメリカ
新興国市場	中国、インド、ブラジル、ロシア、南アフリカなど	－

オルカンは世界中の多様な市場に分散投資を行うため、特定の国や地域の経済動向に左右されにくく、S&P500 に比べてリスクの分散効果が期待できます。

S&P500 は、アメリカを代表する大企業 500 社で構成されており、投資対象はアメリカのみです。アメリカ経済の成長を直接的に取り込むことができ、アメリカ経済が好調なときには、高いリターンが期待できるでしょう。

ただし、アメリカはオルカンの投資対象にも含まれているため、例えば Apple、Microsoft、Amazon などの大企業は、オルカンと S&P500 どちらにも組み入れられています。

分散投資によるリスクヘッジを重視するならオルカン、アメリカの成長を期待するなら S&P500 への投資が良いでしょう。

4. オルカンと S&P500 に共通するメリット

オルカン(オール・カントリー)と S&P500 は、どちらも人気の投資信託です。投資対象とする国やエリアは異なるものの、以下のように共通するメリットもあります。

インデックスファンド

オルカンと S&P500 はいずれもインデックスファンドであり、特定の指数に連動するように設計されています。

これにより、個別銘柄の選定リスクを回避し、市場全体のパフォーマンスを反映できるというメリットがあり、初心者でも比較的投資がしやすいです。

信託報酬が安い

オルカンと S&P500 は、信託報酬が比較的安く抑えられていることも共通のメリットです。特に長期間にわたる投資では、信託報酬の差が投資効率に大きな影響を与えます。さまざまな投資信託に幅広く分散投資したい方にも、低コストのオルカンと S&P500 が選ばれています。

NISA で取引可能

オルカンと S&P500 のファンドは、どちらも NISA で取引が可能です。

NISA とは、投資で得られた利益が非課税となる税制優遇制度で、投資初心者からベテランまで、多くの投資家が注目しています。
より効率的に資産を増やすためにも、ぜひ NISA を活用してはいかがでしょうか。

5. オルカンと S&P500、NISA ではどっちを買えばいい？

オルカン(オール・カントリー)と S&P500 は、どちらも信託報酬が低く、値動きも把握しやすいため、NISA でも人気銘柄となっています。

「オルカンと S&P500、どっちを買うべき？」と悩まれる方も多いでしょう。

オルカンと S&P500 のどちらがいいかを一概に言うことはできません。
なぜなら、投資スタイルや目標、リスク許容度によって、適したファンドは違って来るからです。

例えば、リスク分散を重視する方には、オルカンがおすすめです。世界中の市場に分散投資することで、地理的リスクを低減できます。

より高いリターンを追求する方には、S&P500 が適しているでしょう。アメリカ経済が成長すれば、より高いリターンが期待できます。

6. オルカンと S&P500、両方に投資するのはあり？

「オルカンと S&P500、両方に分散投資すればいいのでは？」と思われる方もいるでしょう。

しかし、先ほど説明した通り、オルカンと S&P500 には共通する点も多いです。
どちらもインデックスファンドのため、同じような値動きをすることが多く、リスク分散の効果としてはそれほど高くはありません。

リスク回避を目的とした分散投資は、異なる値動きをする商品を組み合わせて行うのが基本です。一方が値下がりをして、もう一方が値上がりすれば、全体的に安定するというのが、分散投資の考え方です。

そのため、NISA の投資先としては、オルカンと S&P500 どちらか一方を選択する方が多いです。

7. NISA でオルカンと S&P500 に投資するコツと注意点

ここからは、NISA でオルカンや S&P500 を購入する方に向けて、投資のコツと注意点を解説します。

為替リスク

オルカンと S&P500 はいずれも外国株式を対象としているため、円高や円安の影響を受けやすいです。

円高になると投資先の外国株式の価値が目減りする可能性があり、逆に円安になると利益が増加することがあります。

オルカンや S&P500 に投資する際は、為替リスクがあることを理解したうえで、為替動向を定期的にチェックしましょう。

組み合わせが大事

オルカンや S&P500 で分散投資をする際は、株式だけではなく債券をポートフォリオに組み入れるのも良いでしょう。一般的に、株式と債券は逆の値動きをされるとされており、分散投資に最適です。

国内外の経済状況や市場動向を注視しながら、定期的にポートフォリオの見直しを行いましょう。

8. まとめ

NISA でオルカンや S&P500 に投資をするなら、銘柄ごとの違いを理解したうえで、バランスの取れたポートフォリオを構築するのがポイントです。

ただし、投資初心者の場合、銘柄の組み合わせやポートフォリオを考えるのは、なかなか難しいかもしれません。

<著者プロフィール>

福田 猛 氏

ファイナンシャルスタンダード株式会社 代表取締役

大手証券会社入社後、10 年間、1,000 人以上の資産運用コンサルティングを経験。2012 年 IFA 法人であるファイナンシャルスタンダード株式会社を設立。独立系資産運用アドバイザーとして数多くのセミナーを主催し、幅広い年齢層の顧客から支持を受け活躍中。

著書に「金融機関が教えてくれない 本当にお金を儲けたい投資信託」(幻冬舎)がある。

2015 年 楽天証券 IFA サミットにて独立系ファイナンシャルアドバイザーで総合 1 位を受賞。

■■■■■ 著作権 など ■■■■■

著作権者の承諾なしにコンテンツを複製、他の電子メディアや印刷物などに再利用(転用)することは、著作権法に触れる行為となります。また、メールマガジンにより専門的アドバイスまたはサービスを提供するものではありません。貴社の事業に影響を及ぼす可能性のある一切の決定または行為を行う前に必ず資格のある専門家のアドバイスを受ける必要があります。メールマガジンにより依頼することによりメールマガジンをお読み頂いている方々が被った損失について一切責任を負わないものとします。

参考

経済金融情報メディア「F-Style」: <https://fstandard.co.jp/column/>

“F-Style”とは？

人々の暮らしと密接に関わる「お金のヒミツや仕組み」を、より分かりやすくお伝えする経済金融メディアです。